

要 望 書

(令和元年12月18日)

自由民主党愛知県議員団
県土整備促進議員連盟

要 望 書

本県は、日本の成長をリードする産業集積地であり、2027年度開業予定のリニア中央新幹線のインパクトを最大限に生かすためにも、国際競争力強化に資する社会資本の整備を、ますます加速していくことが大変重要であります。

また、本県には、国内最大のゼロメートル地帯を始めとする低平地や土砂災害の危険が多く存在する山地丘陵があり、さまざまな自然災害に対する脆弱性を抱えております。

全国的には、毎年のように大雨や地震による大規模な災害が発生しており、平成30年7月豪雨の記憶もさめやらない中、本年に入っても、10月の台風19号などにより、関東甲信越、東北地方を中心に広範な地域において、度重なる豪雨災害が発生しました。多発する自然の猛威を目の当たりにし、県民の不安はますます高まっております。

こうした中、自然災害から県民の生命・財産を守るためにも、ハード対策に加えてソフト対策も効果的に組み合わせ、河川、海岸の整備を始めとした防災・減災対策をしっかりと進める必要があります。

一方、戦後の復興期から高度成長期にかけて集中的に整備された社会インフラが、耐用年数を迎えつつあることから、その対応が課題となっております。こうしたインフラの機能を引き続き健全に保つためには、施設の状態を的確に把握し、計画的な維持管理・更新に取り組む必要があります。

このように、本県の経済力や防災・減災力が強く求められている今こそ、社会基盤の整備や適切な維持管理に積極的な

財源投入を図るべきであります。

令和2年度の予算編成に当たっては、県民の安全・安心を早期に確保し、県内の経済発展の促進を図るため、下記事項の実現に向けて特段の措置が講じられるよう強く要望します。

記

(道路関連)

- 1 道路ネットワークの充実及び道路交通環境の整備
- 2 効率的な物流を支えるとともに、災害時にも機能する広域幹線道路ネットワークの構築を図るため、名古屋環状2号線、三遠南信自動車道、名豊道路の早期整備や西知多道路の事業中区間の整備推進と未事業化区間の早期事業化
- 3 リニア・インパクトを広く中部圏全域に波及させる名岐道路や、名古屋都市圏環状機能強化に資する一宮西港道路、名古屋三河道路、また三遠地域の県域を越えた交流・連携の促進を図る浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の早期実現に向けた国による調査推進
- 4 長期安定的に道路整備が進められるよう、必要となる予算の確保
- 5 道路の安全・安心を確保するため、日常の道路の維持管理に加えて、高齢化する道路施設の長寿命化対策、橋梁の耐震化などの防災対策、及び事故危険箇所などの交通安全対策の推進に必要な予算の確保

(河川・砂防関連)

- 1 洪水、高潮、地震・津波、土砂災害におけるハード・ソフト対策の強化
- 2 河川改修の推進（多自然川づくりの継続実施）、河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理の充実に必要とな

る予算の確保

- 3 河川・海岸堤防等の耐震化及び高潮対策の推進に必要なとなる予算の確保
- 4 土砂災害対策の推進及び施設の長寿命化対策や維持管理の充実に必要となる予算の確保

(港湾関連)

- 1 港湾物流ビジョンに基づく、港湾の国際競争力の強化に資するふ頭及び臨港道路の整備
- 2 港湾・海岸施設の耐震化等防災対策の推進に必要なとなる予算の確保
- 3 港湾環境整備による交流拠点の充実に必要となる予算の確保
- 4 港湾維持管理に必要なとなる予算の確保
- 5 三河港港湾計画の改訂の推進

(下水道関連)

- 1 快適な水環境の創造及び循環型社会への貢献
- 2 流域下水道の整備及び計画的な長寿命化対策の推進に必要なとなる予算の確保
- 3 下水道施設の地震対策の推進に必要なとなる予算の確保
- 4 下水道資源のエネルギー利用の推進

愛知県知事

大 村 秀 章 殿

自由民主党愛知県議員団

県土整備促進議員連盟

会 長 久保田 浩文

自由民主党愛知県議員団県土整備促進議員連盟名簿

令和元年7月25日現在

会 長	久保田 浩 文		
顧 問	直 江 弘 文	水 野 富 夫	
副 会 長	横 井 五 六 (河川・砂防部会長)	伊 藤 勝 人 (道路部会長)	
	杉 浦 孝 成 (港湾部会長)	石 塚 吾 歩 路 (下水道部会長)	
幹 事	神 野 博 史	神 戸 洋 美	
	森 下 利 久	飛 田 常 年 (道路副部会長)	
	近 藤 裕 人 (河川・砂防副部会長)	山 本 浩 史 (港湾副部会長)	
	中 根 義 高 (下水道副部会長)		
会 計	原 よしのぶ		
監 事	中 野 治 美		
事務局長	坂 田 憲 治 (兼幹事)		
会 員	峰 野 修	石 井 芳 樹	青 山 省 三
	佐 藤 一 志	堀 寄 純 一	高 桑 敏 直
	島 倉 誠	山 下 智 也	藤 原 宏 樹
	新 海 正 春	神 戸 健 太 郎	野 中 泰 志
	石 井 拓	丹 羽 洋 章	山 田 たかお
	今 井 隆 喜	鈴 木 雅 博	佐 藤 英 俊
	神 谷 和 利	村 瀬 正 臣	杉 江 繁 樹
	平 松 利 英	日 高 章	杉 浦 正 和
	中 村 竜 彦		

(42名)

○広域幹線道路ネットワークの構築



効率的な物流を支え、災害時にも機能するとともに、
リニアインパクトを広く波及させる広域幹線道路ネットワークの構築

○道路整備の推進

【産業活動を支える】



国道247号(衣浦大橋)

【愛知県と岐阜県をつなぐ】



一般県道羽島稲沢線(新濃尾大橋)

【緊急時の安全・安心を確保する】



一般県道平和蟹江線(防災道路)

【山間地域の暮らしを支える】



国道257号(清崎工区)

○ 道路の安全・安心の確保

- きめ細かな日常管理によって道路の安全を確保

【維持補修工事(街路樹剪定工)】



街路樹が繁茂し、通行の支障となるため、定期的に剪定を実施

【舗装補修作業状況】



道路パトロール等で発見した路面損傷の速やかな補修の実施

- 高齢化する道路施設の継続的な点検とその結果に基づく修繕の実施

【橋りょう修繕施工状況】



点検で発見された異常箇所速やかな修繕の実施

【トンネル修繕施工状況(背面空洞充填工)】



点検で発見された異常箇所速やかな修繕の実施

- 地震など災害時における道路施設の防災対策の推進

【耐震補強工事】



コンクリート巻立てによる橋脚の耐震化

【落石防止施設工事】



落石等危険箇所の解消のため、法面補強工や落石防止施設の設置を実施

- 事故危険箇所などの交通安全対策の推進

【幹線道路の交通事故対策】



事故危険箇所における速効対策(カラー舗装)

【生活道路の歩行者・自転車利用環境の整備】



通学路の歩道を整備

○ 河川改修の推進及び河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理の充実

日光川水閘門改築事業

新日光川水閘門(飛島村)



海部地域の防災の要である日光川水閘門の整備状況

(老朽化・大規模地震・高潮・洪水への対策の為 H21 より改築工事に着手、新水閘門 H30.3 完成、現在旧水閘門撤去中)

河川改修

一級河川青木川 第 3 調整池(一宮市)



多自然川づくりの継続実施
一級河川伊賀川(岡崎市)

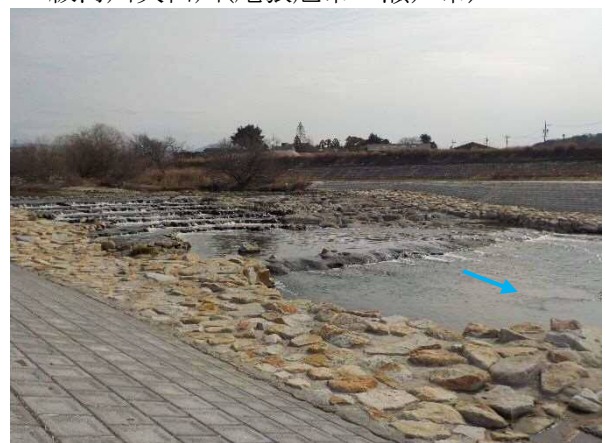


自然な河岸や滯筋を形成できるような整備を行うことで、瀬や淵が生まれ水際植生が復元。

二級河川猿渡川(知立市)



一級河川矢田川(尾張旭市・瀬戸市)



上下流の連続性を確保し、魚類等の遡上・降下を可能にする魚道の整備

○河川・海岸施設の長寿命化対策や維持管理

河川・海岸施設の長寿命化対策

老朽化した施設について、長寿命化計画を策定し予防保全型の維持管理を行い、ライフサイクルコストの縮減と費用の平準化を図る。

南知多海岸（南知多町）



長寿命化対策前



長寿命化対策後

河川の浚渫、河川内の伐木

土砂の堆積や樹木の繁茂により流水の阻害が著しいと判断される箇所については、浚渫や伐木を行う。

一級河川 砂川（岡崎市）



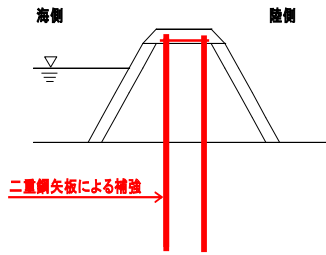
土砂堆積状況



浚渫後

○河川・海岸堤防等の耐震化及び高潮対策の推進

豊橋海岸 杉山地区（豊橋市）



堤防に鋼矢板を設置すること等により、地震時の液状化による堤防沈下を抑制し、浸水被害の発生を防止する。また、高潮時の越水対策としての嵩上げも行う。

○土砂災害対策の推進及び施設の長寿命化対策や維持管理の充実

老平区域 斜面对策工（豊根村）



松下川 えん堤修繕工（西尾市）



未対策

長寿命化対策後

長寿命化計画に基づき、適切に施設の維持管理を行う。

←コンクリート腹付工によるクラック補修

砂防えん堤や法枠工・擁壁工などを整備することにより、土石流やがけ崩れなどの土砂災害から県民の生命・財産を守る。

○ソフト対策の推進

一級河川 天神川（尾張旭市）



危機管理型水位計

Web 閲覧イメージ

洪水時の水位情報を住民に提供する危機管理型水位計の整備



土砂災害警戒区域等の指定・周知のため、オープンハウス方式による説明会を実施

○ 港湾の国際競争力の強化に資するふ頭及び臨港道路の整備

～港湾物流ビジョンに基づくサプライチェーンを強くする港湾物流機能強化策～

【名古屋港】 飛島ふ頭及び金城ふ頭



コンテナ取扱機能の強化のため飛島ふ頭、完成自動車取扱機能の強化のため金城ふ頭の再編改良事業を進める必要がある。

【衣浦港】 外港地区



衣浦ポートアイランドを物流の中核拠点として整備するための検討を進める必要がある。

【三河港】 神野西ふ頭



増大する完成自動車の取扱に対応するため、岸壁、ふ頭用地、防波堤を早期に整備する必要がある。

【三河港】 田原ふ頭



立地企業の物流の効率化を図るとともに、大規模地震時の緊急物資の受入拠点としての役割を担うため、耐震強化岸壁を整備する必要がある。

【名古屋港】 新たな土砂処分場



浚渫土砂の新たな処分場を早期に整備する必要がある。

【衣浦港】 中央ふ頭西



中央ふ頭西は衣浦港の物流拠点であり、岸壁、ふ頭用地を早期に整備する必要がある。

【三河港】 蒲郡ふ頭



大型貨物船やクルーズ船に対応するため岸壁及びふ頭用地を早期に整備する必要がある。

【三河港】 臨港道路東三河臨海線



港の幹線道路として、ふ頭間を連絡する臨港道路東三河臨海線を早期に実現する必要がある。

○ 港湾・海岸施設の耐震化等防災対策の推進に必要な予算の確保



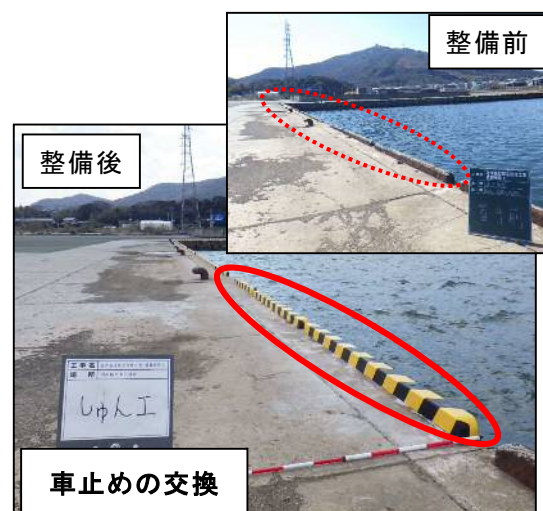
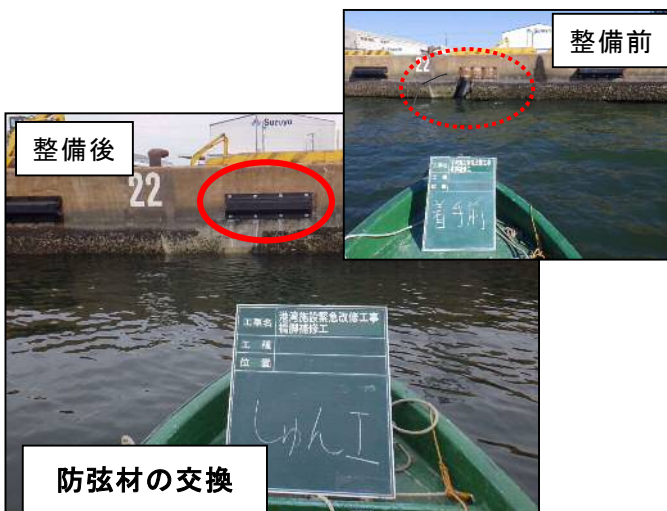
大規模災害時の緊急物資輸送を確保するため、臨港道路（橋梁）の耐震化を行う必要がある。また、海岸堤防等の被災に伴う浸水や津波から背後地を守るため、海岸施設の耐震化を行う必要がある。

○ 港湾環境整備による交流拠点の充実に必要な予算の確保



地域の特性や実状を踏まえた地域創生をめざし、港湾緑地の整備を進め、交流拠点の充実に図る必要がある。

○ 港湾維持管理予算の確保



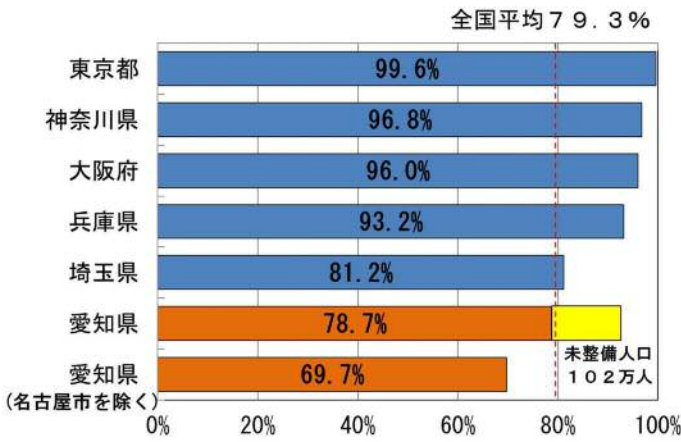
荷揚げや荷下ろしに支障をきたす恐れがあるため、修繕工事を実施する必要がある。

○ 三河港港湾計画の改訂

現在の三河港港湾計画は、平成 23 年に、産業を支える三河港の産業競争力を強化するとともに、「地域の持続的な発展」を推進するために、平成 30 年代前半を目標年次として改訂をしたものであり、その後の社会情勢の変化等を踏まえ、三河港港湾計画の改訂を進める必要がある。

○ 流域下水道の整備及び計画的な長寿命化対策の推進

下水道普及率の状況 (H30 年度末)



愛知県の下水道普及率は全国の都道府県で16位

下水道普及率と環境基準達成率



H26年度に初めて河川の水環境基準達成率が100%となったが、海域の達成率は50%程度で横ばい

流域下水道の整備

管きよの整備 (日光川下流域下水道)



シールド掘進機

処理場の整備 (新川東部流域下水道)



水処理施設 (土木) の増設工事

長寿命化対策の推進 (境川流域下水道)



沈砂池施設 沈砂掻寄機の更新

更新前

ダブルチェーン式

更新後

スクリー方式

○ 下水道施設の地震対策の推進

管きよの地震対策（豊川流域下水道）



管更生工法による管きよの耐震補強工事

自家発電設備の整備（日光川上流流域下水道）



非常時の電源確保のための自家発電設備

○ 下水道資源のエネルギー利用の推進

（豊川流域下水道）



メタン発酵により発生するガスを利用し、
770世帯分相当の電力を発電

（矢作川流域下水道）



メタン発酵により発生するガスを利用し、
汚泥焼却炉の燃料として使用

（衣浦東部流域下水道）



脱水汚泥を炭化により燃料化し、
碧南火力発電所で石炭と混焼し利用

（豊川流域下水道）



処理水の熱エネルギーを活用し、高度な環境
制御技術によるミニトマトの栽培
（農林水産省補助事業）